

かんらんしゃ
観覧車

YOKOHAMA RIVERSIDE IZUMI

No.
99

発行:

障害者支援施設

よこはまりバーサイド泉

ホームページ

リバーサイド泉

検索



入所通所合同作品

C O N T E N T S

施設長より／デイサービス(お昼のデリバリー)／入居者さんの生活(ドライブ活動)／児童わかば(卒業生を送る会)／表紙の合同作品について／古布募集について／ブログについて／その他

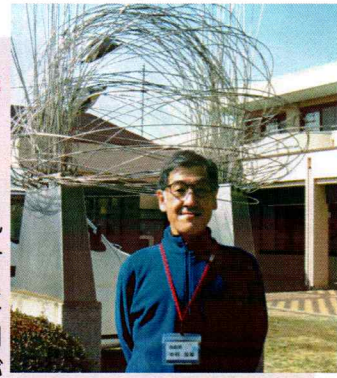


コロナ禍を超えて

施設長 中村 良隆

昨年この原稿を書いている時期には、パラリンピック開催により、障害に対する理解がすすむことを期待していましたが、1年後の今は、コロナ禍により世界中の人々が、外出の自粛等不自由な生活を余儀なくされており、依然として先が見えない状況が続いています。そんな中、オンラインでのコミュニケーション技術が急速に普遍化しさまざまな用途で活用されるようになりました。

当施設では、重い障害をもち様々なバリアと向き合っている方が生活をされています。アフターコロナが、新しい価値観を持った社会を創造するとき、不自由な生活を体験した人々が障害者の生活を身近に感じ、社会の中の障害者に対する様々なバリアを超えるために、コロナ禍の中で培ったオンライン等の新しい技術を活用する、全ての人々にやさしい光のあたる社会となることを切に望みます。



施設入所 入居者さんの生活

ドライブ活動！

コロナ禍で通所や買い物など外出の機会がなくなってしまった利用者さんに少しでも外の空気に触れて気分転換をしていただきたいと、日中活動ではドライブを計画しました。



希望者を募ると38人の方が手を挙げて下さり11回に分けて神奈川県立境川遊水地公園と今田遊水地公園に行ってきました。寒い日もありましたがお天気に恵まれ、広い公園内でゆったりと散歩を楽しみました。

コロナ終息を願うばかりの毎日ですが、今後もお楽しみ活動を皆様にお届けできるように頑張っています。

原稿作成：佐藤



同行した職員の感想・・・

施設外へ出るのが約1年ぶりの利用者さんもいて、お散歩中は皆さんが穏やかな表情になりリラックスされていました。とても良い気分転換ができたと思います。

職員 T
(似顔絵：利用者さん作)



強風の中、到着後は目をつむられてしまう方もいましたが、外の空気を吸って気持ち良さそうな表情をされていました。ひざ掛けや上着が飛ばされそうになりながらも写真撮影の際には皆さんしっかりとポーズを決められていました。



職員 N



遊水地にはスポーツしている人も多く、眺めているだけでも、活発な気分になってきます。川沿いには野鳥を撮影しているカメラマンもあり、自然に触れあうことで、利用者さん達はリフレッシュした表情をされていました。



匿名職員



出発前利用者Sさんは「楽しみにしていたよ」と話していました。遊水地では池に居る鳥を見たり、写真を撮ったりと楽しそうに過ごされていました。帰り際には「また外出したいね」と話されていました。

職員 K



児童の放課後等デイサービス

わかばより

卒業生を送る会を行いました！



放課後等デイサービスわかばでは、毎年3月に実施している「卒業生を送る会」の企画を子どもたちと一緒に行いました。わかばでの時間を共にした先輩

方のために「ありがとう」の思いを込めて、部屋の飾りと合奏を行うことになりました。

部屋の飾りは、見本となる花や台紙を見ながら子どもたちの表情や意思表示カード等を使って、みんなの意見をまとめました。紙テープで作った色とりど



りの花や気球に沢山の折り紙を貼り、素敵な作品が完成しました。合奏曲は「ピリプ」「旅立ちの日に」の2曲、楽器は手作りタンバリン・マラカス、カスタネット、ウインド



チャイムを使って合奏を行うことになりました。練習では、それぞれの楽器の音色が聴けると子どもたちの目が輝き、笑顔で演奏を楽しむ様子が見られました。

今年度の懇談会は恒例のスライドショーの他に、子どもたちの合奏も披露することになり、ワ

クワクワドキドキ思い出深い活動のひとつになりました。今日もわかばの子どもたちは笑顔いっぱい元気いっぱい度過ごしています。

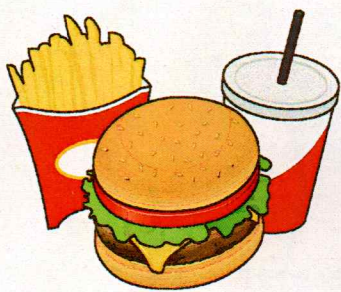


原稿作成：三家



生活介護 デイサービスより

お昼のデリバリー企画！



新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、成人デイサービスにも大きな変化が表れています。

以前より、「その時、利用者さんがやりたいことをやってみよう」ということで、利用者さんからの声を元に日中活動の内容

について新しいものを数多く取り入れてまいりましたが、それに加え、飛沫や接触による感染の危険性を考慮し、感染対策を考慮した内容を提案させていただいております。

そんな中、感染拡大以前より継続していた取り組みのうち、改めて強く希望をいただいているものがかつあります。

そのひとつが、昼食にファーストフードのデリバリーを注文する“外注食”です。

通常、施設内の厨房で作った食事をご提供しており、定期的に出前を取る機会をご提供しています。不要不急の外出を控えるべきこの



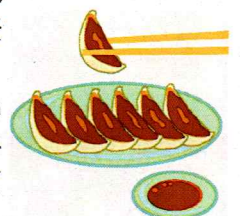
ご時世において、とても多くの希望をいただいています。

ご希望のない方には通常の施設食をご提供していますが、2月に実施した中華料理のチェーン店に関しては、当日ご利用され



る方の内、半数以上のご注文をいただきました。

日頃、外食の機会が激減しているとのことで、皆さん舌つづみを打ちながら昼食を楽しまれていました。



原稿作成：土屋

